

1月

月間指導計画

3歳児



保育目標		正月の雰囲気や冬の自然を感じて、冬ならではの過ごし方を知る。 積極的に戸外で体を動かして遊ぶ。			
子どもの姿		風の冷たさや落ち葉など見つけたりして、冬の自然を感じている。 身の回りのことを自分からしようとする。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	午睡の時間に体を休めて、午後からの時間を元気に過ごす。	休み明けで疲れやすくなっているので、体を休める事で体調を整えられるよう、言葉をかける。	なかなか入眠できない子もいる。	眠れなくても、横になったり目を閉じたりして体を休められるよう、保育士が体をなでたりして側で見守る。
	情緒	友だちや保育士との会話を通して安定して過ごす。	ひとりひとりの思いを受け止めて、自分から発言が出来るよう見守る。	年末年始の楽しかった事などを、気の合う友だちや保育士に喜んで伝えている。	様々な感情表現を受け止める。
教育	健康	身の回りのことを自分からしようとする。	進級に向けて自分から出来るよう、期待の持てる言葉をかけて見守る。	年中児への憧れの気持ちを持ちながら、身の回りのことをやろうとする。	防寒着のハンガーや、手洗い場のコップの位置など、子どもたちが使いやすいよう、改めて動線を考えて設置する。
	人間関係	友だちや保育士に認められることに喜びを感じる。	生活や活動の中で、積極的に褒めたり認めるようにし、お互いの良いところに気がつけるようにする。	保育士の言葉により友だちの良いところに気がつき、お互いを認め合っている。	褒める場面が偏らないよう、様々な場面で認めることを常に意識しておく。
	環境	正月の雰囲気を感じて、正月遊びを楽しむ。	保育室内に鏡餅やしめ縄などを飾り、雰囲気が分かりやすいようにする。 こまや福笑いなどコーナー遊びを作り、用意しておく。	飾りに興味を持ち、保育士に尋ねたり、見た事のあるものを伝えたりしている。 正月遊びを友だちとやってみようとする。	子どもたちの目線からも見やすい場所に飾り、興味が持てるようにする。
	言語	正月に関する絵本を読み、挨拶を知って使ってみようとする。	正月の挨拶に親しみが持てるような絵本を選ぶ。	挨拶を知り、保育士の真似をして使ってみようとする。 ままごと遊びの中でも使い、正月の過ごし方を知ろうとする。	ままごと遊びが充実するよう、空き箱などでおせちに見立てた玩具なども用意し、子どもたちのイメージが膨らみやすいようにする。
	表現	紙コップのけん玉を作り、思い思いの柄を装飾することを楽しむ。	様々な画材を用意しておく。 出来上がりの見本で保育士が遊んで見せ、期待を持って取り組めるよう導入する。	自分だけのけん玉を作ったり、友だちと同じものを作ったりと、それぞれの表現を楽しんでいる。	出来上がったけん玉を使って、のびのびと遊べるよう、遊戯室を使う際には他学年と使用する時間帯など相談しておく。
食育		自分の食べる食事の配膳をする。	配膳する際に、ひとりひとりの食事量に合わせて盛り付ける。	減らしたい、おかわりしたい、などで自分で配膳する事で保育士に欲求を伝えている。	配膳の際は混雑しないよう、テーブル毎の小グループで行うようにする。
健康・安全		バケツでの氷作りの面白さを通して、寒い冬でも子どもたちが自ら戸外で遊びたくなるきっかけを作る。			
保護者支援		年末年始に自宅で出来るようになった事など聞き取り、家庭でも自信が持てるような言葉をかけていただく。			